

■一年間を振り返って

桂川東小学校 校長 金田 泰弘

本年度取り組んできた次の2つの重点目標が、どれくらい達成できたかを振り返ります。

①「考えたたり調べたりしたことを発表できる子ども」

全ての学年で、発表する子どもが増えていきます。ノートに書いた自分の考えを学級みんなに伝えるために、自分から手を挙げて発表しようとする意識が浸透してきました。また、考えがまとまっていなくても、ペアやグループで対話したり話し合ったりすることで、考えが深まり、自分の考えに自信をもって発表できています。



上の写真は、4年生算数の授業

で、全体交流し課題を解決している場面です。自分の考えをもとに積極的に発表する姿が続きました。

今後は、準備がまだ十分でない、

とつさの場面などでも自分の考えを発表できる力を付けていく必要があります。

②「主体的に行動できる子ども」

毎日の縦割りでの掃除、運動会等の学校行事、そして代表委員会や委員会活動で、6年生がお手本を見せてくれました。優しく笑顔で教え、1～5年生を主体的に引っ張ってくれました。



▲6年生 小学校最後の運動会

私たち教職員も、困っている児童にすぐに声を掛けるのではなく、待つことを大切にし、児童が主体的に行動できるように指導を心がけました。また、指導の途中ですが、自分から行動しなければ、という児童の思いは確実に高まっていると思います。

■今年度の教育活動を振り返って

桂川小学校校長 合澤 博之

「学校教育に対する地域の皆様のお力添えの強さ」これは、桂川小学校の一番の強みだと思っています。

本年度もたくさんの方の地域の皆様のご協力のもと「ふるさとを愛し、未来を担う子ども育成」を目指したカリキュラムを進めることができました。その一端を紹介します。

1年生は、桂川幼稚園との交流を深めました。手作りのおもちやをたくさんつくり、「秋の宝物ランド」を開きました。

2年生は、桂川町のたくさんのお店や施設を「たんけん」しました。桂川町にあるたくさんのお店や施設の皆様にご協力いただきました。

3年生は、公共施設の役割について学びました。町役場やひまわりの里などの見学をするともに、地域の伝統行事に関わる方からも話を聞きました。

4年生は、環境と福祉について学びました。桂苑や矢次衛生、社会福祉協議会や手話の会の方にお世話になりました。

5年生は、ゆのうら体験の杜での宿泊、王塚古墳見学や、土師焼体験、シーグラス工作等、体験を通して桂川町の素晴らしさを再認識しました。

6年生は、歴史学習と関連付けて、しめ縄や籐籠づくり、水墨画、生け花、茶道などを体験しました。また、王塚太鼓を練習し、2月に発表会を行います。



▲しめ縄づくりの様子

これらは全て、地域の皆様のご協力がなくてはできない学習です。

さらに、毎朝の通学路での交通指導、挨拶運動、絵本の読み聞かせ、習字指導、絵画指導、合唱指導、ゲストティーチャーなどをあわせることで、学校教育に関わっていただいた皆様方は、年間で100名をはるかに超えています。

桂川町の皆様方の優しさや深い愛情をいっぱいを受けて育った子どもたちは、やがて、「ふるさと桂川を心から愛し、桂川の未来を力強く担っていく大人」に成長することを確信しています。

一年間の学校教育へのご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。